

改修工事中のクリーンセンターと効率的なスプレー缶・ライター処理を調査

総務常任委員長 柳沢 浩一

当委員会は、2月16日委員会を開催し、現在改修中であるクリーンセンターの現況と、危険性が懸念される使い捨てライター及びスプレー缶の処理について調査した。

調査経過

クリーンセンターは、現在、本格的な長寿命化工事を行っている。焼却炉については、2つある炉の1つ

を止めながら、交互に改修を進めている。

当町では、スプレー缶に穴をあけ、内容物を取り出し、破碎を行い、使い捨てライターとともに、安全に処理している。

スプレー缶やライターは、残ったガスが発火し、爆発する危険性が懸念されているが、これらを安全に処理できる機械『安心カンカン』を開発したの

考察

は、伊勢崎市にある(株)中島自動車電装である。当町は、スプレー缶・使い捨てライターの処理を委託している。

各自治体では、処理施設の耐用年数が迫り、再建が迫られているところも多い。玉村町のように焼却炉改修でしのぐなど対応はさまざまだが、家庭、事業所段階でさらにごみの減量化を進めることが、焼却炉の負担を少なくし、長寿命化に貢献することとなる。

また、スプレー缶、使い捨てライターが安全に処理できるようになったことは一歩前進である。ごみの分別を進めることで、リサイクル化と資源化のさらなる推進を期待している。

安心カンカン



処理前(手前)
処理後(奥)
のライター

キャラクターの活用で、まちおこし機運の高まりを期待

経済建設常任委員長 川端 宏和

当委員会は、2月13日埼玉県羽生市を視察し、キャラクターを活用した市の活性化、観光交流人口拡充に対する取り組みについて調査した。

調査経過

当町では、玉村町を全国的にPRし、町の顔となる、花火などの観光振興やまちづくりで活躍するマスコットキャラクターの導入を計画している。現在はキャラクターのデザイン募集も終了し、7月上旬の発表に向けて準備を進めている。

羽生市は、キャラクターを活用したまちおこし事業の先進地である。「羽生市には何もない」とよく言われ、市をアピールするものが乏しかったことから、平成15年2月にイメージキャラクターをつくった。その



“いがまんちゃん”とともに

後、さらなる活性化を図るため、市民から寄附を募り、平成19年に着ぐるみを製作した。

また、平成22年度にはほかの自治体にも参加を呼びかけ、「ゆるキャラ(R)さみつとin羽生」を開催し、観光交流人口の拡充を図っている。

考察

玉村町を取り巻く環境は大きく変わろうとしている。特色のあるまちづくり等、課題は山積するが、羽生市のようにキャラクターの製作・活用をきっかけとして、観光振興やまちおこし機運が一層高まることを期待したい。当町においても、誰からも愛され、親しまれるマスコットキャラクターが製作されることを願う。



健康診断・がん検診の受診率アップ
にさらなる対策を

文教福祉常任委員長 備前島久仁子

当委員会は、3月6日委員会を開催し、町が実施している各種検診と受診率を上げるための取り組みを調査した。

調査経過

玉村町では、40歳以上の国保加入者に対し、「特定健診」「しなやか健診」「がん検診」「骨粗しょう症検診」や「歯周疾患検診」「若年者健診」等の各種検診を行っている。

●受診率の状況

町の特定健診受診率は34%で、全国平均とほぼ同じであるが、胃がん・大腸がん検診は10%台と非常に低い。がん検診は、全国的に受診者数が低いため、無料クーポンを発行し受診を促してきたが、クーポン券を出した年は増えるものの、以後は継続していない。

考察

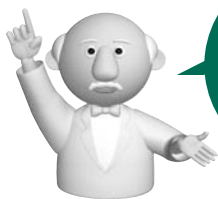
調査の結果、さまざまな対策をとっているものの、各種健診の受診率がまだまだ低いことが確認できた。

一方で、国保加入者向けの人間ドック希望者が多い現状を考えると、人間ドックのように、一度にすべての健診が受けられるような方法や、受診時間を予約制にする対策も効果的かと思われる。また、未受診者にアンケートを行い、受診しない理由を把握することも必要かと考える。

いずれにしても、受診することで病気の早期発見・早期治療が可能になる。健康に対する意識を喚起するためにPRを続け、総合的な健康意識の高まりにつなげていくよう望む。



玉村町の家計
「予算」



予算は、玉村町の1年間（4月～翌年3月まで）の収入と支出の見積もりです。

この予算によって、町民にどんな行政サービスができるのかが決まりますが、予算が堅実でなければ、どんなに町民の福祉向上や町づくりの理想を掲げていても、実現は難しいものとなります。

しかし、どの市町村においても、小中学校の校舎や保育所を改築してほしいとか、道路の舗装を急いでほしいとか、補助金を増やしてほしいとか、住民の要求は無限です。でも、財源には限度があり、住民の要望すべてにこたえられないため、町長は編成に苦労しています。

議会は、町長から提案された予算が、住民全体の立場に立った公平なものかどうか、客観的に審議します。

議会で議決された予算は、効力が発生し、決まったこと以外の収入・支出はできなくなります。



シリーズ
ぎかい / 知っ得
コラム
vol.9